

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
感情・人格心理学			17311	I	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
	選択	2				

授業の到達目標

心理学の様々な理論、人格の形成要因や発達過程、感情が行動におよぼす影響、心の病などの視点から人格とは何かを学び、人間の個別性を理解することで人間の心に関する理解を深める。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）とE（倫理）を学ぶ。

授業の概要

人間の行動の仕方には個人差があることから人格という言葉が生まれた。その複雑な個人差を測定する方法を知るとともに、人格の形成過程や人格理論、さらには不適応の問題についても学び、自己と他者のより深い理解をめざす。

授業計画

- 1.はじめに:人格の定義と歴史
- 2.人格を理解する観点と理論Ⅰ:理論
- 3.人格を理解する観点と理論Ⅱ:類型論
- 4.人格を理解する観点を理論Ⅲ:特性論
- 5.人格の発達Ⅰ:人格形成の要因
- 6.人格の発達Ⅱ:ライフサイクル
- 7.人格と関係性
- 8.適正とは
- 9.人格の傷つき
- 10.心理査定:風景構成法
- 11.心理査定:バウムテスト
- 12.心理査定:TEGⅡ
- 13.感情に関する理論および感情喚起の機序
- 14.感情が行動に及ぼす影響
- 15.総括

授業の方法

講義とグループワークを中心とする。また、適宜心理検査を実施する。

準備学修

授業後の復習が必要である。

課題・評価方法

定期試験(50%)、小レポート(20%)、出席状況(15%)、授業後の感想レポート(15%)

欠席について

欠席が5回以上で不合格とする。

テキスト

適宜配布する。

参考図書

詫摩武俊・瀧本孝雄・鈴木乙史・松井豊『性格心理学への招待 自分を知り他者を理解するために』サイエンス社

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学概論			17327	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
津田 明子	選択	2	大病院診療内科学講座研究員、スクールカウンセラー 大学学生相談室、一般病院診療内科勤務			

授業の到達目標

臨床心理学の誕生から現在までの歴史の変遷を概観し、臨床心理学の代表的な理論について学習する。その上で、臨床心理学の実際としての心理アセスメントと基本的な心理療法について学ぶ。そして最終的に、臨床心理学における基礎知識とさらに、臨床心理学的に人間を理解するという視点を獲得する事を目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）について考える。

授業の概要

本講義では、臨床心理学の成り立ちを歴史の変遷を通して概観し、その発展を支え、臨床心理学の基礎となった代表的な学者の理論（人格理論・精神発達理論）を中心に解説していく。また、実際の臨床場面において使われている心理アセスメントや代表的な心理療法についても紹介していく。そして、最終的に臨床心理学的観点から人間を理解することについて考えてもらう。

授業計画

- 1.臨床心理学とは
- 2.臨床心理学の成り立ち
- 3.こころのしくみとパーソナリティ①フロイトの考え方
- 4.こころのしくみとパーソナリティ②ユングの考え方
- 5.こころの発達理論①エリクソンの考え方
- 6.こころの発達理論②クラインの考え方
- 7.こころの発達理論③マラーの考え方
- 8.こころの発達理論④ウイニコットの考え方
- 9.臨床心理学の実際ー心理アセスメントについて
- 10.臨床心理学の実際ー心理療法とは
- 11.心理療法①精神分析療法・分析心理学派
- 12.心理療法②クライアント中心療法
- 13.心理療法③森田療法・内観療法・遊戯療法
- 14.心理療法④芸術療法・認知行動療法・家族療法
- 15.総括・テスト

授業の方法

講義を中心に進めていくが、授業時間中にわからなかったところなどを確認するために、感想レポートなどの提出も適宜課していく。

準備学修

授業開始までに臨床心理学に関係すると思われる書籍で関心のあるものを1冊以上読んでおくこと。また、授業終了毎にノートや資料の見直しなどを行い、各自復習しておくこと。

課題・評価方法

平常点30%、定期試験70%

欠席について

実習などの特別な欠席を除き、1回の欠席につき、2点を減点する。

テキスト

特に決まったテキストは用いない。

参考図書

授業の中でその都度紹介する。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学実習1（心理テスト法）		17373	Ⅲ	春	20名まで (超過の場合は資格取得予定者を優先する)
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
中植 満美子	選択	1	臨床心理士、教育相談員（神戸市教育委員会）、 小・中スクールカウンセラー（神戸市）		

授業の到達目標

心理臨床現場（保健所、児童相談所、病院など）における幼児期の発達状況を捉え、発達検査や心理判定の際に役立つ基本的な心理検査について知り、身につけることを目標とする。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）とI（知性）とE（倫理）を養う。

授業の概要

各心理検査の意図を理解し、各心理検査において検査場面を想定したロールプレイを行い、検査者と被検査者のそれぞれを体験し、検査の実施方法や検査結果のまとめ方を学び、身につける。課題ごとに検査結果の所見をレポートにして提出する。

授業計画

- 1.はじめに 心理テスト概論
- 2.心理検査法実習の復習
- 3.P-Fスタディ①
- 4.P-Fスタディ②
- 5.文章完成法 SCT
- 6.内田クレベリン作業検査
- 7.新K式発達検査④
- 8.新K式発達検査⑤
- 9.WISC知能検査④
- 10.WISC知能検査⑤
- 11.バウムテスト
- 12.風景構成法
- 13.スクイグル法
- 14.箱庭療法①
- 15.箱庭療法②・統括・期末テスト

授業の方法

実習形式で行い、検査結果を分析し、所見をレポートで提出させる。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法

平常点70%、定期試験30%

欠席について

実習なので、基本欠席は認めない。

テキスト

『臨床心理学実習 心理テスト法』の手引き（中植満美子）開成出版より出版予定。本年度は授業中に資料配布する。

参考図書

適宜紹介する。

留意事項

定員20名までとし、超過する場合は資格取得予定者を優先する。レポート課題の提出は、実習の翌週とする。

教員連絡先

nakaue@kaisei.ac.jp

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

専門分野科目〈心理・臨床・発達〉	クラス	科目コード	配当年次	期 間	人数制限
臨床心理学実習2（カウンセリング法）		17377	Ⅲ	秋	20
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験		
津田 明子	選択	1	大学病院心療内科学講座研究員、スクールカウンセラー 大学学生相談室、一般病院心療内科勤務		

授業の到達目標

授業の中でさまざまな実習を体験し、そこからカウンセリングにおける人間関係やカウンセラーに必要な姿勢など、カウンセリングの専門性とは何かについて考えてもらう。そして、さまざまな実習体験の中で自身がどのように感じ、考えたか、自身のこころの動きをしっかりと見つけ、自分と向き合う体験をレポートにまとめられるようになることを目標とする。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）とA（自律）について考えます。

授業の概要

心理療法、特にカウンセリングについての基本的な知識、カウンセラーとクライアントとの関係性を中心に実習と講義を行う。そして実習を通して「信頼感」、「共感」、「純粋性」などについて考える。最終的には、疑似ケースを使ったカウンセリング実習を行い、実際のカウンセラーとクライアントの心の動きやプロセス、カウンセラーに必要な姿勢などを自身の振り返りやカンファレンスから考えていく。自身がどのように感じ、考えるかを大事にし、授業を進めていく。

授業計画

- 1.自己紹介実習
- 2.信頼実習
- 3.感情と行動の実習
- 4.コミュニケーション実習①
- 5.コミュニケーション実習②
- 6.助言の実習
- 7.ロールプレイ実習
- 8.心理臨床を学ぶー心理療法とカウンセリング
- 9.[宝探しの地図]実習
- 10.コンセンサスの実習
- 11.共感と純粋性の実習
- 12.カウンセリング実習・振り返り①
- 13.カウンセリング実習・振り返り②
- 14.カウンセリング実習・振り返り③
- 15.カウンセリング実習・振り返り④、総括

授業の方法

グループやペアによる実習とその振り返りを中心に授業を進めていく。

準備学修

臨床心理学の授業の内容を復習しておくこと。また、毎日社会で起きている様々なニュースに関心を持ち、臨床心理学的な観点でそれらについて考えてみる。

課題・評価方法

①毎時間、実習終了後に全員でのディスカッションと担当教員によるフィードバックを行う。
②平常点70%、定期試験30%にて評価を行う。

欠席について

実習が中心のため、事前連絡なしの欠席は大幅な減点の対象とする。

テキスト

特になし

参考図書

その都度紹介する